

第18回私立短期大学入試広報担当者研修会 第2分科会 研修報告書

育英短期大学 桂 健太郎
東京家政大学短期大学部 守屋 眞二

メインテーマ

オープンキャンパスの活性化（運営方法・内容等）策について

【Ⅰ 分科会の目標設定】

研修会全体の目標である「変革期に求められるスキル（能力）」を意識しつつ、本分科会のテーマに沿った議論により、具体的な方策を検討する。さらに、参加者が自学における実際の募集活動に活かせるよう、研修会の成果を明確にする。

【Ⅱ 分科会の実施内容（スケジュール）】

1日目

分科会研修（1）

16：30～17：30（60分）

16：30～16：35 ①研修会の日程等説明

16：35～16：50 ②自己紹介

運営委員の自己紹介に続き、
参加者の自己紹介

16：50～17：10 ③講演内容と事例報告の整理

講演及び事例報告に関する感想
や気づきについて意見交換

17：10～17：30 ④アンケート項目の整理

運営委員より参加者から寄せられた課題について、項目確認を行う（項目は以下の通り）。

- ・ 広報活動について
短大のみ／4大併設／パンフレット等の広報ツール
- ・ 運営方法等について
運営体制（教員、職員、全学等）
学生スタッフ（依頼、指導、賃金等）
保護者向けプログラム
参加者の一連の流れ
当日配布するパンフレット、ノベルティ
- ・ SNSについて
活用方法
種別
- ・ その他
具体的なプログラム内容



OCでの説明内容
各種イベントの棲み分け
内容充実
体験型イベント

2日目

分科会研修（2）

10：15～12：00（105分） 2つのグループ①と②に分かれて実施

- ① グループ〔6名1グループとして2グループに分かれて実施〕
 - ・ 前日項目確認したアンケート項目を中心に情報交換。
 - ・ 運営委員から、自大学の事例を紹介して議論の活性化を図る。
- ② グループ〔6名1グループとして2グループに分かれて実施〕
 - ・ 入試広報セミナー（講演）を受けて、短大の強みについて議論。
 - ・ 前日項目確認したアンケート項目を中心に情報交換。

分科会研修（3）

13：00～14：00（60分）

他の分科会委員から研修状況の報告を受ける〔①と②合同〕

- 13：00～13：30 ①山田運営委員より講話
- 13：30～14：00 ②秋草運営委員より講話

分科会研修（4）

14：00～15：00（60分）

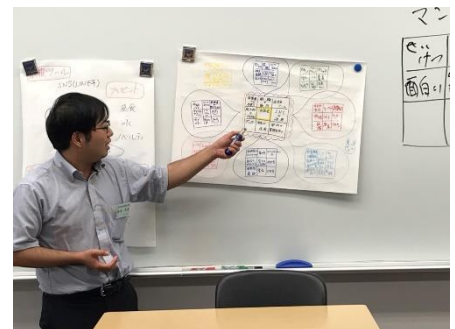
①、②の各グループ（全4グループ）が各々に内容のまとめと発表。

- ・ 14：00～14：20〔まとめ〕

情報交換や意見交換から得られた気づきや具体的な方策についてまとめる。

- ・ 14：40～15：00〔発表〕

4つのグループが今回の研修を通して、得られた気づきや成果をまとめたものを相互に発表。各グループの情報や意見を共有することで、更なる気づきや成果を得る。



【Ⅲ 分科会の総括】

講演や事例発表の内容について相互に議論するとともに、自大学の抱える課題を参加者同士が忌憚なく議論することで、多くの気づきや具体的な情報を得ることができた。今後、各大学での取り組みに研修会で得た多くの成果が生かされると思われる。さらに、参加者同士の連帯感が生まれたことで、各大学が抱える課題の解決に向けた活発な情報交換が期待できる。

【IV 参加者の成果シート（まとめ）】

・「独自」といえるものをつくる。 ・皆さん同じ悩みを持たれており、情報共有ができてとても嬉しかったです。 ・他大学の事例に基づく話が聞けて、大変貴重な時間になりました。 ・広報は難しいけれど、楽しむ気持ちを持つことの大事さ。 ・4大併設の短大と短大のみでは広報の方法が違ってくる。

・大学の所在地等の環境やニーズによって、広報戦略が違う。 ・このような研修に参加すること自体、入職してから初めてだったので、他大学の広報担当者の方との交流を通して、どの大学も同じような悩みを抱えているのだと気づきました。また、全体の雰囲気も良く、相談しやすい環境だなとも感じました。 ・多くの方々と意見交換ができ、刺激と仲間を頂くことができました。 ・他の方の意見を時間をとってじっくり聞くという機会がなかなかないので、勉強になりました。 ・話すのが上手な方が多かったです。 ・ワールドカフェで決められた時間の中で話すのが、とても難しかったです。 ・“上は何もしてくれないは言わない”という話を秋草さんからお伺いできてよかったです。してくれる前に自分でできるようになれるよう、これから頑張ります。 ・「自大学を愛しているか」ととても胸が痛いお話でした。自分が愛していないと相手も愛してくれない。まずは、短大に勤めて良かった、楽しいと思うこと、思えるような働きをすること。そして、協力し合うことで愛を深めようと思いました。 ・高校訪問時の心構え→信頼してもらえらる広報マンを目指します。 ・協同、思いやりの大切さ。

・他大学、自学の違いを知ることができた。外に出て、初めてわかることだと思われる。この違いを良い点はさらに発展させ、悪い点は改善、または研究・分析しようと思う。 ・他校の事例はもとより、色々な方々の前向きな思いや悩みが良い刺激になりました。 ・様々な方々と出会えるようにスケジュールを組んでくださってありがとうございました。お陰様で多くの人達と“つながる”ことができました。 ・まず、やってみる（気づきから発展させていく）。 ・都市部と地方、プロパーと併設といった各短大の置かれた状況により、課題も違うという気づきを得ました。 ・職場では、ある程度オープンキャンパスの内容や取り組みについて決まった形ができてしまっていて、今日の研修のように話し合うこともなかなかないですが、原点に振り返って色々なことを話し合うことができ、改めて大切なことは何か、そしてそれを他大学の方と共有することができて良かったです。 ・「協力」がキーワードかと思います。学生スタッフはもちろん、教職員、保護者など多くの人と関わりを持つ仕事なので、「協力」が大切だと思いました。 ・まずは、自分の短大のことをもっと知ること、好きになることが大切だと思いました。他大学も悩みに思っていることはほぼ同じだったので、共有できたことや事例を知ることができて良かったです。 ・学内の協力体制を構築すること。 ・まずは、自分の対人関係を見直したいと思った。人と協同してこそ大きなことを成せる。 ・知りたいことは現場に聞く。直接聞く。現場の声を吸い上げる。 ・オープンキャンパスの学生生活用や募集活動のPDCAを働かせて、入試改革を行っている事例で、入学後の意識付けを行う等、感心しました。